

新ましこ未来計画外部検証委員会（暮らし）議事録

日時	平成 28 年 11 月 14 日(月) 19:00～21:00	
場所	役場 職員休憩室	
出席者	委員	市川委員、上野委員、呉浦委員、高松委員、村田委員
	職員	大内民生部長、加藤総務課長、高浜保健センター所長、仁平環境課長、富賀瀬高齢者支援課長、日下田企画課長
	事務局	岩崎
配布資料	新未来計画説明資料、事前質問・回答一覧、成果指標・重要業績評価指標	

発言者	発言要旨
企画課長	1. 職員自己紹介 2. 本会議および外部検証スケジュール・配布資料確認 事前質問の回答を基に、施策ページごとに検証を行う。本日の質問を踏まえてまとめたシートを後日提出していただくようにしたい。再度質問がある場合は、企画課を通して回答する。
民生部長	3. 暮らし概要説明 資料に基づき説明
民生部長	4. 検証 目安は1ページ10分で進めていく OP.21について 選ばれるまちへの転換 町民活動支援センターは検討段階のものであり、益子のニーズを踏まえてこれから進めていく。
委員	町民活動支援センターが福祉センターに設置を想定しているとのことだが、社協の活動もあるため構想段階から相談してほしい。
民生部長	使い方等も含めて構想段階から相談したうえで決定したい。
委員	ミチカケはどこで手に入れられるのか分からず、町外からのお客様が来てもご案内することが難しくなっている。
民生部長	ミチカケは町外向けに発行しているため、町民向けに発行できる部数が少ない。そのため、町民の方の目に触れる機会が少ないのが現状である。移住定住事業は今年度から開始され、浸透していくようPRしていく。
企画課長	空き家バンクは自治会長さんに依頼し、調査をしていただいて現在集計している段

	階。町で斡旋が出来ないため不動産業者に協力して頂けるよう調整をしている。
委員	基本的な確認だが、KPI に様々な目標が設定されているが、現在構想段階で動きがない項目が多い。目標を達成することは出来るのか。また、KPI は現状の数値を把握したうえで設定しているのか。
民生部長	H32 年度の最終目標として設定している。1 年ごとの目標も設定している。
民生部長	OP. 22 について 住み続けるまちへの飛躍 年間出生数は、H27 年は増えているが、年により波がある。H28 年は 157 人程度の見込みである。全国で減少している中で、増加目標は大変高い目標である。今後出生数を増やすには、移住者を増加させることが大きな課題である。
委員	子育て応援手当はお母さんたちに大変喜ばれている。子どもの運動着を買うのに丁度よい金額。他の市町ではやっているのか。
保健センター 所長	他の町では子育て応援手当としてはないが、出産祝い金等はある。地域通貨は大型店舗でも使用できるようになりミルクやおむつ等も購入できる。
委員	子育て中の親が集まる場については、福祉センターの児童室などがあるが活用されているのか。母親同士が交流できるこういった場の充実は必要なこと。
保健センター 所長	利用して頂いている。
民生部長	OP. 23 について 豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備 里山整備事業は一年に 3 か所程度増やしていくと 40 か所になる。今年度は 4 か所整備をしている。
委員	小貝川も以前よりごみを捨てる人が減りだいぶきれいになったように感じるが実際はいかがか。きれいなところには捨てにくい心理が働く。
環境課長	以前よりは大幅減っているが、百目鬼川などまだいくらか捨てられることがある。
民生部長	百目鬼川はきれいにする会が毎月清掃活動をするほか、地元の方も清掃活動をしているので捨てることも減ったのではないかと思う。
委員	ひまわり、コスモスは「政策 2 住みよい持続可能なまちの創生」に位置付けられており、町民向けのお祭りかと思うが、町外からの観光客にも喜ばれている。焼き物ライナーでいらした人が利用できる公共交通機関がなく訪れにくい状況であった。シャトルバス等の交通機関があると便利である。

委員	陶器市のシャトルバスの利用状況はどうだったのか。行きと帰りの乗車人数等のデータを取って活用した方がよい。
委員	OP. 24 について 自然エネルギーの利用拡大と省エネルギーの普及啓発 エネルギー需給率の達成率が大変高いが。
民生部長	算出方法が異なっており、変更される可能性が高い。
委員	ペレットストーブはいくらくらいするものなのか。
民生部長	ものによるが 30～50 万円程度。
委員	茂木町でペレットを生産するようだが。
民生部長	益子町でストーブを普及させて、ペレットを茂木町のものを利用して循環できるようになれば良い。
委員	ペレットは一日あたりいくらぐらいなのか。
委員	灯油代と同じぐらいだったと思う。金額が安いというよりは、環境にやさしいという考え方。
委員	すでに家で使用している暖房器具を買い替えてまで使用しようとするのはなかなかないため、新築を立てる方向けに奨励金とともに PR するのはいかがか。
民生部長	OP. 25 について ごみの資源化・減量化の推進 益子町のごみの排出量は、県内でも低い。芳賀郡は全体的に低く、茂木、市貝が特に低い。もともと住民の意識が高いため今後どうやってさらに減少させるかが課題。
委員	生ごみ堆肥の処分状況はいかがか。
環境課長	無料配布については、たくさん持って行っていただいている。
委員	販売は出来ないのか。
委員	堆肥化すると量がだいぶ減るため販売するほどの量が取れないと聞いている。
民生部長	堆肥を利用した作物がおいしく育つか、いちご農家さんに試験的に配布している。

	また、現在試験的にプラスチックごみ、草も回収している。
委員	小型家電の集まり具合はいかがか。どのようなものが該当するかなど知りたい人がいる。年に数回でも広報で知らせてほしい。
環境課長	定期回収では毎回軽トラで数台分は集まる。さらに広報したいと思う。
委員	OP. 26 について 健康・長寿まじこづくりの推進 健康指標全国順位 1 位は高い目標だと思うが。
保健センター 所長	目標なので高く設定している。
民生部長	健康指標の順位には国民健康保険の一人あたりの医療費が関連している。1 人当たりの医療費は県内では一番低い、利用者の年齢が上がってきているため増加してきている。
委員	成人病検診の受診者数は増加しているか。
保健センター 所長	徐々に上がってはいるが、目標には届かない。
委員	チャレンジポイントのポイントがたまると特典はあるのか。
保健センター 所長	地域通貨を想定しているが、関連事業が多数あるためどこまでを対象とするか検討している。新たに運動する人を増加させるような取組みとしていきたい。
委員	OP. 27 について 食事を通した健康づくりの推進 食育に関する講演会について質問したが、栗原はるみさんなどの著名な料理研究家で益子焼を使用している方もいらっしゃる、お金はかかってしまうが実現すれば面白い事業になるのではないかと考えている。
委員	OP. 28 について 高齢者の生きがいづくりの推進と障害者支援の充実 ふれあいサロンは何か所あるか。七井、田野にはできたのか。
高齢者支援課 長	現在 2 カ所。田野、七井にはないが、栗崎で動きがある。
委員	閉じこもり防止で集まりたい方が気軽に集まれる環境が大切。車に乗れない高齢者も多いがデマンドの登録者数はいかがか。

企画課長	登録者は概ね 2,800 人、利用者は年間 12,000 人。
委員	最近高齢者が加害者になる交通事故も増えており、免許証返納する人が増えると、デマンドの利用者も増加すると考える。免許返納をした方向けにデマンドを利用しやすい仕組みをつくれんか。
総務課長	返納者にデマンド利用券を配布しており今年度 9 名の実績がある。本人より家族からの希望が多い。
総務課長	OP. 29 について 防犯・防災体制、交通安全対策の充実 刑法犯罪発生率は増加している。交通事故発生件数は、減少しており死亡事故は 3 年連続 0 件であるが、町外で益子町民が死亡している例がある。H28 年 1～10 月で 13 件あり昨年並みである。交通事故は全国的にも減少している。
委員	交通マナーもよくなっているように感じる。暴走行為をする人も見かけなくなり、スピードを出せる道路もないことも要因か。
民生部長	一通り終了したが、他にありますか。
委員	外部検証・意見シートの書き方について教えていただきたい。
事務局	総括シートの次にそれぞれの施策シートがついている。25 枚の施策シートに関してそれぞれ外部検証・意見シートに記入し、2 週間程度を目安に 11 月末までに提出願いたい。改善とする場合は、その理由も頂くと担当が参考にしやすい。 資料 4 は H27 年度に国の交付金を活用した事業の結果、様式 4-1 を提出していただく。
事務局	5. 事務連絡 次回会議は来年の 5 月前後となる予定。 6. 閉会

成果指標・重要業績評価指標 (KPI)

基本目標 幸せを感じる暮らしをつくる

成果指標・KPI	基準値 (H27策定時)		実績値					
	値	時点 (年度)	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31 2019	H32 2020
「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	—	—	90.8%					
人口の社会動態(転入者と転出者の差)	▲24人	H26	▲162人					
年間出生数	164人	H26	181人					
里山整備実施箇所数(累計)	24箇所	H26	26箇所					
エネルギー自給率	3.5%	H26	41.7%					
1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(町資源 化分を除く)	428g	H26	382g					
ごみの分別リサイクル率	26.0%	H26	33.0%					
健康指標全国順位	35位	H24	35位 (H24)					
18歳以上の運動習慣者の割合	—	—	17.4%					
メタボリックシンドローム該当者の割合	15.3%	H26	16.6%					
メタボリックシンドローム予備軍の割合	11.2%	H26	12.1%					
介護予防教室及び高齢者サロンの参加者実 人数	208人	H26	263人					
刑法犯発生件数	95件	H26	130件					
交通事故発生件数(人身)	27件	H26	18件					

新未来計画 事前質問・回答一覧(平成28年度 上半期)

質問番号	新未来計画ページ	担当課	事前質問	回答
1	21	総務課	①町民活動支援センターで実施する内容が不透明だが、どのようなことを想定しているのか。	①について 質問番号4番と回答が類似するので、そちらをご覧ください。
2	21	企画課	①具体的な情報発信はこれからなので見守っていきたいところだが、多くの人に伝わる発信方法を検討したい。	①について 移住ワンストップサイト(特設ホームページ)、移住ガイドブックについては、ご意見を参考にし、移住希望者が欲する情報(子育て、教育、起業、就職、空き家情報等)をわかりやすく伝えられるよう進めていきたい。
3	21	健康福祉課	①福祉センターには児童室があり、すでに子育て支援事業を実施しているが、子育て支援センターの開設というのは、どのような考えであるのか。	①について 子育て支援施設(P22)の早期設置について検討中であり、他の事業や既存施設との関連も合わせて検討している。
4	21		②町民活動支援センターに関して、その内容について具体的に知りたい。	②について 町民活動支援センターは、新まち未来計画冊子21ページ欄外に記載があるとおり組織だが、一般的には趣味やボランティア、生涯学習活動など、住民やNPO等も含めた方たちが活動する拠点として、さまざまな情報や交流する場所の提供を行い、活動支援を行う組織。町が目指す町民活動支援センターの具体的な内容は検討中だが、これに沿ったものと考えている。
5	21	観光商工課	①道の駅ワンストップ窓口での情報提供でのハローワークとの連携となると、町内外の企業の求人紹介が多くなると思うが、益子ならではのライフスタイルという点を紹介する情報発信もほしい。	①について 益子ならではのライフスタイルということで、町では、益子の人と暮らしを伝えるフリーマガジンとして「ミチカケ」を発刊し、益子の暮らしの情報を発信している。
6	21	生涯学習課	①町民活動支援センター設置を福祉センターに想定しているが、福祉ボランティアの拠点・窓口になっている社会福祉協議会との整合性をどう考えているのか。	①について 当初は、町民活動支援センター設置を福祉センター内で想定していたが、現在は、福祉センター以外の場所を含め、改めて検討している。

質問番号	新未来計画ページ	担当課	事前質問	回答
7	22	健康福祉課	①具体的な行動②で行っている、他市町村の状況調査の進行状況を知りたい。	①について 地域子育て支援施設については、インターネットで他の情報を調べている。また、宇都宮市、大田原市他の視察を行い事業内容、利用状況、要望、問題点、運営方法などについての説明を受けた。
8	22		②年間出生数目標値175人のところ181人とすでに目標を達成している。まだ具体的な施策を実施していないところでの目標達成だが、そうすると目標設定が甘かったとしか考えられない。もう少し目標値を大きくしてみてもどうか。	②について 平成27年中の出生数は181人と増加しているがH28見込みでは160人を下回る。今後、目標値の達成のためには大きな努力が必要である。
9	23	環境課	①里山林整備が完了した箇所は地元管理になるということであるが、地元には管理責任が発生するのか。	①について どちぎの元気な森づくり県民税事業の里山林整備の実施にあたっては、事前に町、森林所有者及び地元活動組織の3者による協定を締結して、地元活動組織については下草刈り・保育活動をして頂くことになる。なお、事業完了後に、活動状況を確認して活動組織に対して交付金を支払うことになる。
10	23	生涯学習課	①ひまわり祭り、コスモス祭りの会場へは、公共の乗り物でいけるのか。また、土日限定のシャトルバス運行は実施されているか。	①について 会場へ直接アクセスできる公共交通は無い。また、シャトルバスの運行も実施していない。
11	23		②ひまわり祭り・コスモス祭りは毎年大規模に田野・生田目で実施されている。10月にオープンした道の駅とコラボして集客を図るなどの連携を取るべきだと考えるが、スムーズな車の出入りのためにも塙橋付近からの農道の拡幅や導線の確保を実施できないか。	②について 主要地方道つくば益子バイパス工事が道の駅方面から着手され、最終的には塙橋の東側に接続する計画があるようだが、竣工後は本線を花畑会場へのアクセス道路として考えているため、早期完了を望んでいる。
12	23	農政課	①多面的機能支払交付金と、その取組組織とは、どのようなものであるか内容を知りたい。	①について 農業者等による組織が取り組む水路の泥上げや農道の路面維持など地域資源の基礎的保全活動や地域住民を含む組織が取り組む水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成など農村環境の良好な保全を始めとする地域資源の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動を支援。 生田目、前沢、上山、本郷・松本、原、大郷戸、尾羽の里(上大羽)、東田井、大平、小泉、風戸、里西(大和田・田中・台町)、西明寺、北中、下大羽、新福寺、塙、長堤、栗生の19組織で実施。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
13	24	環境課	①木質バイオマスストーブの実績が全く上がっていない。有効性を理解してもらうために、実際に使用しているところを見学したり体験できるようなデモンストレーションなどの方策の考えはないか。	①について 木質バイオマスストーブ設置費補助金については10月末時点で1件の交付決定をしている状況である。また、町民まつりにおいて環境基本計画推進委員の協力によりストーブを展示して頂きデモンストレーションをする予定である。
14	24		②具体的行動③に関して、補助制度の周知以前にペレットストーブ、太陽熱利用システムがどういふものか知られていないのではないか。	②について 平成28年度から交付をするようになった木質バイオマスストーブ設置費及び太陽熱利用システム設置費補助金については、町HPや広報まじこ等で内容等を掲載をしているが、まだ広く町民に浸透していないこともあり、今後イベントや会議等でも周知をしていく。町HPや広報まじこでもよりわかりやすい表現を心がけていく予定。
15	24		③エネルギー自給率が目標値の10%を大きく上回りすでに23.9%に達している。目標値の見直しが必要ではないか。	③について エネルギーの自給率については資源エネルギー庁の固定買取制度のデータ等を基に算出している。平成27年度においてはその数値が大きく伸びており、町内のメガソーラー発電の運転が開始されたことが要因だと想定される。今後とも設置状況等をみながら最終目標値を目指していきたい。
16	25	環境課	①草等堆肥化事業については、周知が不十分であることと、高齢者世帯など、専用袋を役場に取りに行けない場合もあるかと思われる。普及を促すためにも、専用袋を各自治会公民館等に配布しておくなどの手配はできないか。	①について 現在試行的に300世帯を対象に、H29.3まで実施中。周知については「お知らせ版」で行っているが、更に自治会回覧で周知を図ってきたい。今回は草等の堆肥化事業の検証のため役場環境課での配布とさせていただいているが、今後さまざまな意見をいただいた中で町公民館での配布についても含めて検討していきたい。
17	25		②ごみの資源化についてはまずまずの達成度であると思う。町民のごみの資源化に対する意識が着実に上がっていると思う。	②について 資源物として行政回収する品目を増やしているところであるが、今後も更なる回収量を増やすため広報等による啓蒙を進めていく。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
18	26	健康福祉課	①ロコモティブシンドロームや生活習慣病予防のため、栄養とともに重要な運動だが、健康チャレンジポイント制度の導入はどのように進めていくのか。	①②について 現在、平成29年度の導入に向け担当部署にて内容を検討しているところである。
19	26		②健康チャレンジポイント制度の早期実施を望む。	健康イベントへの参加や個人の健康行動に対してポイントを付与し、ポイントに応じたインセンティブ(報償)と交換することで、健康づくりの習慣化への支援としたいと考えている。
20	26	生涯学習課	①まじこチャレンジクラブの活動は総合体育館が多いと思うが、時間帯によっては中央公民館の利用者と重なることがあり駐車スペースがなくなってしまう。駐車場の整備は検討できないか。	①について 駐車場の整備については、以前から課題となっており、検討が必要であると認識している。
21	27	健康福祉課	①持ち運び可能な「マルチ周波数体組成計」を今年度購入したとのことだが、体の組成、筋肉量などがわかり健康増進に大変有効であるが、今後どのように住民に周知させていくのか。	①について 健康教育や健康相談、健康まつり、広報誌等による周知を考えている。
22	27		②食育に関し、著名な方(栄養関係、料理研究家など)による講演会の開催によって幅広い年齢層の方に、食に対する関心を深めていただけると考えるがいかがか。	②について 食に関する関心を深めていくためにも今後検討したいと考えている。
23	27		③健康レシピコンテストの実施を期待している。コンテストの優秀作品は様々なイベントで試食ができる仕組みを希望する。	③について 健康まつりでの試食を考えている。
24	27	農政課	①道の駅においてオープン当初の来客数は予想よりも多く、品不足も見られたとのこと。品不足を解消し地元野菜を手軽に購入できるようにしていただきたい。	①について 指定管理者と連携し、努力する。

質問番号	新未来計画ページ	担当課	事前質問	回答
25	28	企画課	①デマンドタクシーの利用者がひと月あたり約千人と安定している。現在のルートが高齢者が望んでいるルートなのか検証が必要ではないか。	①について 固定されたルートという取り決めが特に無く、乗降場所については、町内どこでも可能となっている。しかし、七井と田野地区間の移動は一度益子駅で乗り換えが必要のため、今後の課題と考えている。
26	28	高齢者支援課	①ふれあいサロン推進事業においては、新規予定を含めて益子地区のみの設置と思われるが、田野、七井地区での設置予定、または動きはあるか。	①について 七井地区でやりたいという声は出ているが、まだ具体的な動きはない。田野地区は動きなし。
27	28		②高齢者サロンへの参加者数は目標値を上回り順調な滑り出しだと思う。今後は、地域的な分析を実施し、参加しにくい地域への対策の検討も必要と考える。	②について 現在行っている「健康とくらしの調査」の結果と合わせ、分析を行ったうえで対策を検討したい。
28	28	学校教育課	①障がい児者との交流は七井地区だけということだが、益子・田野地区でも交流の機会を持った方がよいと考える。	①について 七井地区には益子特別支援学校が有り、以前から交流を図ってきた経緯がある。ご指摘のとおり、今後、田野地区、益子地区の小中学校へ働きかけたい。
29	28	生涯学習課	①講座への参加者で高齢者の割合はどのくらいか。	①について 自主教室が約7割、公民館主催教室が約6割、その他、いきいき講座町民編は約1割。町民編の割合が低い理由として、学校での読み聞かせによる、児童の参加が多いため。
30	29	総務課	①交通事故発生件数は目標ペースで推移しているが、刑法犯発生件数は前年に対して半減しているものの、このペースでは目標値を大きく超えてしまうと想定される。どのような刑法犯が多いのか。	①について 窃盗犯39件(侵入犯13、乗り物盗6、非侵入犯20)、粗暴犯5件、知能犯1件、その他の刑法犯6件
31	29	建設課	①季節によっては台風・大雨・積雪・凍結などで交通機能がマヒしてしまうことが年に数回あると思う。地元建設企業が積極的に対処しているが、この対応をぜひ評価していただけないか。	①について 災害時の地元建設業者の対応については、協定や契約に基づいて行っている。その積極的な対応については評価できるよう検討したい。
32	29	学校教育課	①具体的行動②に関して、スクールガードで歩くことも計画書P26健康チャレンジポイントと連動させるのはいかがか。	①について チャレンジポイントについては、今後、関係課と調整を図りたい。
33	29		②スクールガードについては、地域通貨等での謝礼(報酬)はあるのか。 ③スクールカードの協力者を募集するのが大変なことだと実感している。これに関して、学校教育課だけではなく、高齢者支援課・生涯学習課とも連携した活動となるよう検討してはどうか。	②について スクールガードについては、ボランティアで協力いただいている。 ③について ご指摘のとおり、関係課と連携を図り、募集の機会を広めたい。

質問番号	新未来計画ページ	担当課	事前質問	回答
34		企画課	①新まちこ未来計画が最上位計画であれば、町で計画実施している既存計画との整合性を図る必要があるのではないかと。新未来計画の数値目標が既存計画の数値目標よりも高いレベルにある場合、既存計画の数値目標は意味をなくしてしまう。	①について 提言についてはご指摘のとおりである。策定時には各担当課へ新未来計画の数値目標である成果指標・重要業績評価指標(KPI)と整合性を図るよう指示したところであるが、その後の追跡調査は行っていないので、改めて各担当課へ周知し、確認を行いたい。
35		観光商工課	①地域通貨の魅力アップのため、単なる現金の代わりではなく、プレミアム感を出してみたらどうか(たとえば、地域通貨でなければ買えない商品の開発、あるいは販売店との連携など)。	①について 29年度の本稼働に向けて、地域通貨の周知について地域通貨検討委員会において準備している段階であり、ご指摘の事項については今後の検討と考える。

■地方創生交付金事業

質問番号	資料No.	担当課	事前質問	回答
1	5	企画課	①プロモーションビデオは、どのような方法で公開しているのか。	①について 町のホームページのほか、本年度開設する予定の移住・定住に特化したホームページ、東京都内で行う移住者相談会、移住を推進している民間団体(JOIN)等が開設している移住専用ホームページ等で公開していく予定である。